



**LinkCube** データ接続スタイル変換

# ユーザーガイド

2025 年 6 月 20 日 第 1 版発行

▶ Copyright© 2013-2024 LinkCube.LLC All Rights Reserved.

本ユーザーガイドの内容はすべて、著作権法によって保護されています。

当社の許諾を得ることなく、複写、複製、転載、頒布等の二次利用を禁止します。また、内容を変形、変更、加筆修正等を行うことも同様に禁止いたします。

▶ 登録商標について

Adobe および InDesign は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Macintosh、Mac OS は Apple Inc. の登録商標です。

その他、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

# 第 1 章

## LinkCube データ接続スタイル 変換の基本

既存ドキュメントを、LinkCube 自動組版のテンプレート、LinkCube 差分反映、LinkCube データ書き出しで使えるようになります。



**LinkCube**

# 使用する InDesign バージョンを設定しよう

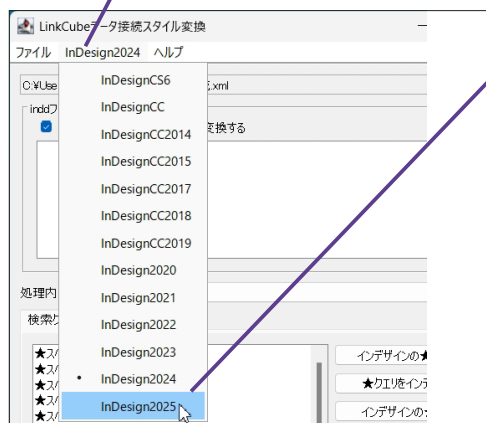
## 使用する InDesign バージョンを設定する

画面上部、InDesign メニューをクリックすると、使用するインデザインバージョンが選択できます。選択したバージョンはメニューに表示されます。そのまま保持するので、1 度だけ設定してください。

### 使用する InDesign バージョンを設定するには

① メニューの InDesignXXXX をクリック

② 使用する InDesignXXXX をクリック



# 変換したい インデサインドキュメントを指定しよう

## 変換したいインデサインドキュメントを指定する

データ接続スタイル変換したいドキュメントを指定する方法は2つです。

1つめは、開いているアクティブなドキュメントを変換します。

2つめは、InDesign ファイル (拡張子 indd) を変換します。

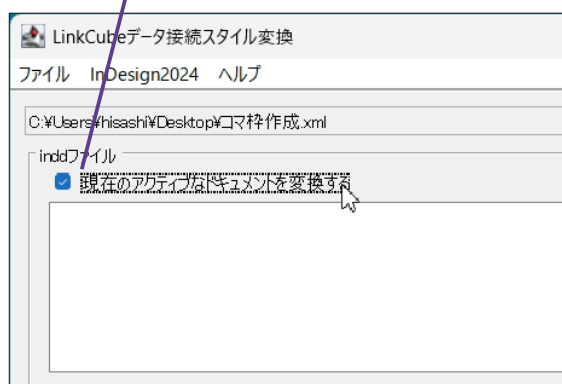
「現在のアクティブなドキュメントを変換する」のチェックをはずすと、indd ファイルを複数追加できます。

indd ファイルをファイル一覧領域に、ドラッグ&ドロップしても追加できます。

ファイル一覧領域から indd ファイル削除するには、ファイル一覧から選択後、削除ボタンを使用してください。

## アクティブなドキュメントを変換するには

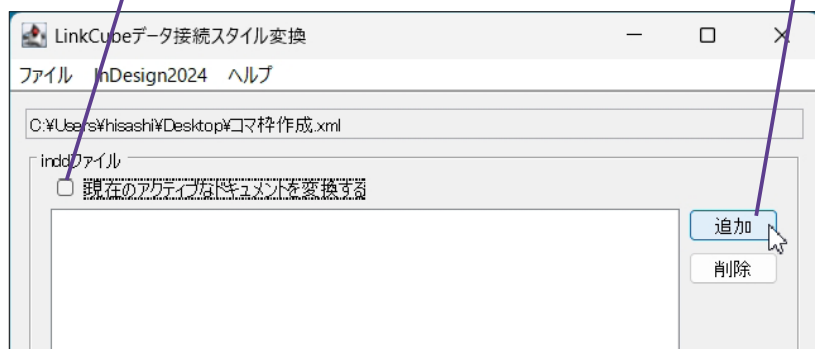
① 「現在のアクティブなドキュメントを変換する」にチェックをいれる



## 複数のインデサインファイルから一括変換するには

① 「現在のアクティブなドキュメントを変換する」のチェックをはずす

② 「追加」またはドラッグ&ドロップで、データ書き出ししたい indd ファイルを複数選択する



## 変換したい処理内容を設定しよう

### 3つの処理内容

文字、オブジェクト、表組に「データ接続」スタイルグループ内のスタイル(文字スタイル例:データ接続 / 価格)が適用されていると、LinkCube 自動組版のテンプレート、LinkCube 差分反映、LinkCube データ書き出しで使用する事ができます。(コマ枠が必要になる場合もあります)

LinkCube データ書き出しでは、同じようにインデザイン検索クエリを使用できますが、ここでは事前に変換する方法となります。

スタイルは自動作成し適用します。事前にスタイル作成は不要です。

処理内容は3つあります。

- 1 つめは「データ接続スタイルの適用と、コマ枠を作成する」
- 2 つめは「データ接続スタイルの適用だけ行う」
- 3 つめは「コマ枠だけ作成する」

### データ接続スタイルの適用と、コマ枠を作成する

検索クエリで検索した文字やオブジェクトに、「データ接続」スタイルグループ内のスタイルを適用します。同時に、検索クエリで検索した文字のテキストフレームを基準に、指定したレイヤー、サイズ、オフセットでコマ枠を作成します。

### データ接続スタイルの適用だけ行う

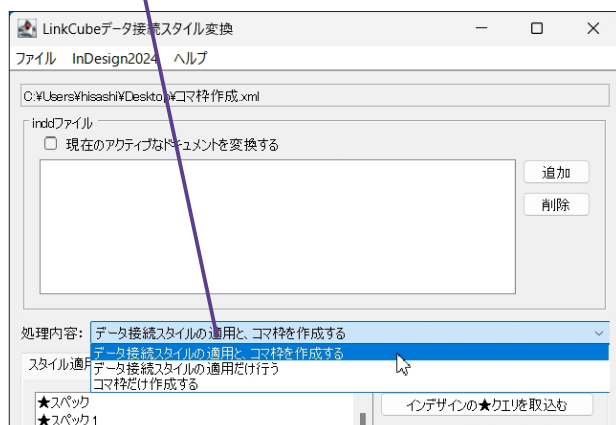
検索クエリで検索した文字やオブジェクトに、「データ接続」スタイルグループ内のスタイルを適用します。

### コマ枠だけ作成する

検索クエリで検索した文字のテキストフレームを基準に、指定したレイヤー、サイズ、オフセットでコマ枠を作成します。

## 処理内容を設定するには

- ① データ接続スタイルの適用と、コマ枠を作成する、データ接続スタイルの適用だけ行う、コマ枠だけ作成する、からいずれかを選択する



# データ接続スタイルを適用したい文字、画像、表組の箇所を設定しよう

## 検索クエリ変換（データ接続スタイル適用）ルール

- ルール 1. 文字にデータ接続スタイルを適用したい場合は、インデザイン検索機能のテキストタブまたは正規表現タブから検索条件を設定します。
- ルール 2. 画像フレームにデータ接続スタイルを適用したい場合は、インデザイン検索機能のテキストタブまたは正規表現タブからファイル名の検索条件を設定するか、インデザイン検索機能のオブジェクトタブから検索条件を設定します。
- ルール 3. 表組イメージのままエクセルファイルと関連付けたい場合は、インデザイン検索機能のテキストタブまたは正規表現タブから表組内で使用している文字（1つで OK）の検索条件を設定します。
- ルール 4. 設定した検索条件を、クエリ保存機能を使用し★項目名で保存します。（例：★税込価格）  
 テキストまたは正規表現で検索する画像パス名の場合は、「\_ ファイル名」でクエリ名が終わるようにします。（例：★商品画像 \_ ファイル名）  
 表組イメージのままエクセルファイルと関連付けたい場合は、「\_ 表組」でクエリ名が終わるようにします。（例：★価格表 \_ 表組）
- ルール 5. 同一項目で検索条件を複数設定したい場合は、\_（半角アンダーバー）以降に適当な名前を付けます。  
 例えば検索クエリ名、★税込価格、★税込価格\_1、★税込価格\_2、いずれも「税込価格」としてデータ接続スタイルを適用します。
- ルール 6. ★が多いほうが優先順位が高くなります。例えばインデザインで以下の商品が3つあるとします。  
 サイズ、カラー、原産国は全て同じ書式で、カラーと原産国はある時とない時があります。  
 サイズ、カラー、原産国をそれぞれ項目としてデータ接続スタイルを適用したいとします。

商品 A      サイズ：幅 30mm、高さ 50mm

商品 B      サイズ：幅 30mm、高さ 50mm    原産国：中国

商品 C      サイズ：幅 30mm、高さ 50mm    カラー：ブルー    原産国：中国

サイズから始まる文字列条件で検索すると、サイズ、カラー、原産国、全てマッチするため、正しく書き出せません。（正規表現に詳しい方はできると思いますが、正規表現が複雑になります）  
 以下のクエリ名に（★の優先順位を使用）することで正しくデータ接続スタイルを適用します。

★サイズ    ※正規表現で「サイズ：」から始まる文字列条件（サイズ：.+）

★★カラー    ※正規表現で「カラー：」から始まる文字列条件（カラー：.+）

★★★注意    ※正規表現で「原産国：」から始まる文字列条件（原産国：.+）

## 「インデザインの★クエリを取込む」ボタン

インデザインで保存されている、★から始まる名前の検索クエリを取り込みます。

取り込んだクエリは、リスト表示されます。

リスト表示順をドラッグ&ドロップで変更できます。

## 「★クエリをインデザインに反映」ボタン

取り込んだクエリをインデザインに反映します（戻します）。

## 「インデザインの★クエリを削除」ボタン

インデザインに保存されている、★から始まる名前の検索クエリを削除します。削除する場合は、取込み後におこなってください。

削除しなくても問題ありませんが、異なる仕事で検索条件が違う場合、削除すると管理しやすくなります。

例：A 社カタログの★税込価格は、検索条件が 12 級の文字。B 社カタログの★税込価格は、検索条件が 20 級の文字など。

## 「左記リストから削除」ボタン

取り込んだ★クエリを削除します。インデザインの検索クエリには影響しません。

## 「編集」ボタン

取り込んだ★クエリを編集します。インデザインの検索クエリには影響しません。編集できるのはクエリ名と検索文字列です。

フォント、色、文字サイズなどの検索条件を編集する場合は、一度「★クエリをインデザインに反映」し、インデザインでクエリを保存しなおして「インデザインの★クエリを取込む」を行ってください。

## 「★+」ボタン

リストで選択しているクエリの★を追加します。★が多いほど優先順位が高くなります。

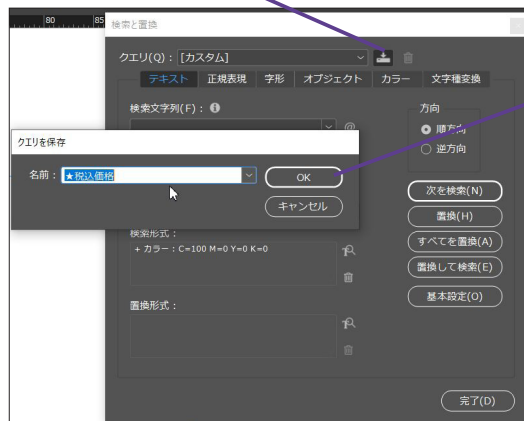
## 「★ー」ボタン

リストで選択しているクエリの★を削除します。★が少ないほど優先順位が低くなります。最低は★1 つです。



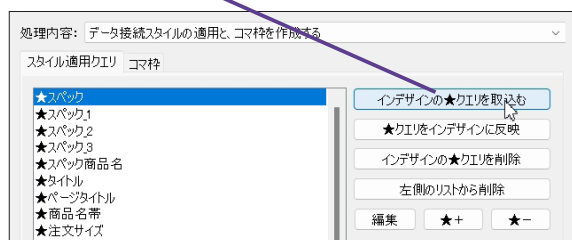
## 検索クエリでデータ接続スタイルを設定するには

① 検索条件を設定後「クエリを保存」をクリック



② ★から始まる名前にして「OK」をクリック

③ [インデザインの★クエリを取込む]をクリック



## コマ枠の設定をしよう

### コマ枠の設定

LinkCube 自動組版のテンプレート、LinkCube 差分反映、LinkCube データ書き出しでコマ枠が必要になる場合、既存データに自動でコマ枠を発生させる事ができます。以下の値を設定しますが、処理内容が「データ接続スタイルの適用だけ行う」の場合、入力できません。

また、★クエリが必ず1つ以上必要になります。前のセクションで★クエリをインデザインから取込んでください。

レイヤー名：コマ枠のレイヤーです。

枠の幅、枠の高さ：コマ枠のサイズです。

横オフセット、縦オフセット：枠を発生する基準位置から、ずらす量です。

基準位置：★クエリでヒットした文字のテキストフレーム基準位置（コマ枠の発生基準位置）です。

検索クエリ：コマ枠を発生させたい★クエリを指定します。

### コマ枠の設定をするには

- 1 コマ枠タブをクリックし、各設定値を入力

処理内容: データ接続スタイルの適用と、コマ枠を作成する

スタイル適用クエリ **コマ枠**

レイヤー名: コマ枠

枠の幅: 220.0      枠の高さ: 325.0

横オフセット: 0.0      縦オフセット: 0.0

基準位置: 左上

検索クエリ: ★タイトル

## 既存ドキュメントを変換しよう

### 変換先（書き出し先）フォルダ指定

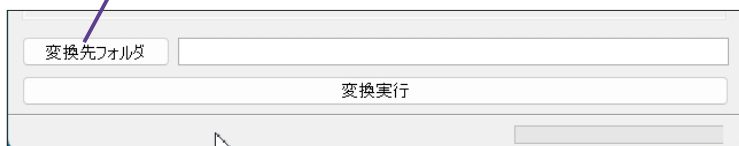
「変換先フォルダ」ボタンで、変換先フォルダを指定するか、フォルダ直接入力（コピー＆ペースト）してください。「現在のアクティブなドキュメントを変換する」にチェックが入っている時は、変換先フォルダ入力できません。

### 既存ドキュメントの変換実行

変換実行ボタンをクリックすると実行します。

#### 変換先フォルダを指定するには

① 「変換先フォルダ」をクリックし、指定フォルダを選択



#### 既存ドキュメントを変換するには

① 「変換実行」をクリック



## 設定した内容を保存しよう

### 設定内容の保存し管理する

現在の設定内容を xml ファイルで保存することができます。

取込んだインデザイン検索クエリの内容もそのまま保存するため、いつでもインデザインに反映することができます。

保存した xml ファイルを読み込むには、「ファイル」メニューから「開く」し、xml ファイルを選択するか、画面上部の xml ファイル表示領域にドラッグ&ドロップしてください。

そのほか、「ファイル」メニューの「新規」は設定内容をクリアします。「別名で保存」は設定内容を別名で保存します。

### 設定内容を保存するには

① メニューの「ファイル」[保存]をクリック

